

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	キッズいちえ		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2025年5月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2025年5月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供に合わせた丁寧な支援ができること	・1対1の個別療育の中でお子様に合わせてスケジュールや課題の設定をしている。日々の状態に合わせてフレキシブルに対応できるようにしている	・現在行っているフォーマルアセスメントの結果や聞き取り内容を分析し、療育内容に反映していきます。個別療育であってもスタッフ同士で子どもについて考える機会を持ち、ケース検討を通して支援について多様な意見を取り入れられる場を作ります。
2	・こどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解をもてること	・保護者同室での療育行うことや連絡アプリを使用した保護者連携を行うことで療育以外の状況の把握がリアルタイムで可能になり、保護者からの相談に速やかに対応できるよう心がけている	・保護者支援が充実するよう、保護者とスタッフの療育での関わりだけでなく、研修会の実施や保護者会の実施を通して子供だけでなく保護者、そしてスタッフが成長できる場を提供します。
3	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供できること	TEACCHやPECS等、科学的に実証された支援を勉強した専門職（公認心理士・作業療法士・精神保健福祉士）が支援を行っている	子どもたちの特性への理解を深め、スタッフ間での連携を高めることで、より支援の質を高めることができるよう取り組みます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の周知	掲示板に掲示をしたり、契約時にはお伝えしているが、個別療育の時間の中で非常時等の対応についての話をする機会を持つことができていない	避難訓練等を実施した報告を連絡アプリで周知をしたり、分かりやすく掲示する等、保護者の方に周知してもらえようとする
2	地域の他のこどもとの交流機会が不足していること	個別療育を希望し利用されている為、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を活動として提供できていません。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます
3			